

2月のおたより

2月の異名「如月」は「衣更着」とも書き、寒さのために衣を重ねて着るという意味があるということですが、まさに先月の末には10年に1度という寒波に見舞われ、身に応えました。寒さには強いと自負していた私ですが、寄る年波には抗えられません。ついには、布団の上に毛布4枚重ね、やっと安眠できました。しかし一方では「気更来」とも書き、これは春に向かって暖かくなるという意味だそうで、2月はそういう「寒」と「暖」の過渡期なのだということに改めて思いました。

寒中見舞いを出していた友人から電話がきました。コロナ禍でもう3年ほど会っていない友人でしたが、元気な声と変わらない話しぶりにホッと胸をなでおろしました。それから近況報告など時を忘れて喋りまくりました。この年になると、つい愚痴が多くなりますよね。手元で育てた孫が就職2年目にして、体をこわして退職し帰って来たこと、手術を控えて悶々とくらしていること、それを側で見ているのが辛いこと、人生って本当に思い通りにならないことなど等、堰を切ったように話したのでしょうか。すると、じっと聞いてくれていた彼女が、「でもね、神はできない人には与えない、って言うよ。」と言ったのです。ハッとしました。そういう風に考えればいいんだ、と気付きました。彼女自身、若い頃からさまざまな辛い事を乗り越え、数年前には長年看病したご主人を亡くし、現在ひとり暮らしの身なのです。だからこそ出て来る言葉なのだろうと思いました。「期待に答えなくちゃね。」と元気が出てきました。

最近、図書館に寄贈された『抜萃のつづり その八十二』という小冊子の中で心ひかれる文章に出会いました。新聞、雑誌、書籍などから抜萃したエッセイなどが掲載された冊子です。(館内で閲覧できます。) その中に、夜間中学校を取材した作家の方の「つくし」という文章がありました。貧困や病気、戦中戦後の混乱の中で義務教育が受けられなかった高齢者の方々だったそうですが、その文字や言葉の修得に対する熱意には本当に感動されたそうです。ある時、板書された「つくし」という文字を見て「ああ、優しい顔してる。」とつぶやかれた高齢の生徒さんがいて、なるほど「あ」や「お」や「ゆ」などは手ごわいけれど、「つ」や「く」や「し」の何と穏やかで優しい字面をしているのだろうと、改めて感じ入り、それまで文字や言葉を粗末に扱ってきた自分を恥じたという文章でした。おそまきながら、さまざまな形で人生の訓となる言葉に出会い、背中を押されるこの頃です。
【文・河浦図書館長】

新着本紹介

一般書

児童書・絵本



『ノーマル・ピープル』 サリー・ルーニー/著 山崎まどか/訳 早川書房
『ヘアの文化人類学』 新田文輝/著 文芸社
『もも助の、引っ越したもん』 尾坂昌紀 良幸/写真と文 大空出版
『うたのかいせつずかん』 野口義修/監修 ライトスタッフ/編 ほるぷ出版

名探偵のままできて	小西 マサテル/著 宝島社
ちとせ	高野 知宙/著 祥伝社
正解のない世の中を生きる	葉山 潤奈/著 ワニブックス
1日1杯血液のおそうじスープ	栗原 毅/著 アスコム
おやすみの歌が消えて	リアノン・ネイヴィン/著 越前敏弥/訳 集英社
アルスラーン戦記 17	荒川 弘/漫画 講談社
「なんとなく不調」をなくす 大人の鍵ハモLesson	Mon"Design-NeT"/著 小学館
かぎ針で編むモロッカンデザインのモチーフアイデアBOOK	ザ・ハレーションズ/編 日本文芸社
光るマウスが未来をかえる	森川 成美/作 講談社
うさぎびこん!	松橋 利光/写真 池田 葉津美/文 アリス館
ちくちくことば・ふわふわことば 1	秋山 浩子/文 鈴木 教夫/監修 汐文社
ぎざぎざくるくる葉っぱのカタチ	上原 巖/監修 佐藤 直樹/絵 農山漁村文化協会
ふしぎいっぱい!学校の木	高柳 芳恵/文・写真 偕成社
小学生のための「日本の名画」がわかる本	「日本の名画」がわかる本編集室/著 メイツユニバーサルコンテンツ
1年生からのらくらくレシビ	若宮 寿子/監修 文研出版
チョコレートスイーツ	

1月14日(土)
「ふゆのおはなし会」開催しました!

前日から降っていた雨のおかげで(?)1月にしては暖かい日となりました。今回のテーマは今年の干支でもある「うさぎ」が登場するおはなしをしました。工作では、カラフルな「うさぎのかぶりもの」ができました。次回は3/25(土)に「はるのおはなし会」を予定しています。ありすボランティアさん、今年度最後の活動になります。お楽しみに♪

- 紙しばい 『うさちゃん』 瀬名恵子/作・はり絵 童心社1981
- 絵本 『いっしょにねてあげる』 さこもみ/作 アリス館文2014
- パネルクイズ 『ポケットクイズマン』
- 大型絵本 『おぼけのてんぷら』 せなけいこ/作・絵 ポプラ社2004
- 絵本 『しろいうさぎとくろいうさぎ』 ガース・ウィリアムズ/文・絵 まつおかきょうこ/訳 福音館書店1965
- かんたん工作 『うさぎのかぶりもの』

『子どもとイベントで使えるカブリモノ紙工作』 チャッピー岡本/著 小学館2016
誕生日、ひなまつり、クリスマス...
いろんなイベントで使えますよ!
1枚の紙を切り抜くだけで簡単に作れちゃいます。



2/19(日) 「2023天草つんでフェスタ」
講演会には、たくさんの親子連れの参加があり会場も盛り上がりました。
児童コーナーでは、2/12(日)複合施設こらすにて開催された読書イベントでお招きした絵本作家のきむらゆういちさんの絵本を展示しています。代表作に『あらしのよるに』(講談社)や『あかちゃんのおそびえほん』(偕成社)など大人気の絵本を出されています。

『なぞ解きイベント』ひやか王からの挑戦状 終了しました

2023年1月6日から中央図書館と河浦図書館で開催していた『なぞ解き』イベント「ひやか王からの挑戦状」は1月29日で終了しました。おうちの人と相談しながら一緒に解いたり、一人で集中して頑張って解いたり、お友だちと協力しながら解いたり、皆さん楽しんで挑戦されていました。

いるか号巡回	3月日程	大江出張所 みんなの家・ひだまり	9日(木)
宮野河内	8日・22日(水)	下田	14日(火)
富津・新合	15日(水)	上河内	28日(火)
一町田	28日(火)	大江・高浜	16日(木)
社協・桜ん里・古江	29日(水)	福連木・宮地岳	29日(水)
河浦小	15日(水) 回収のみ	天草小	16日(木) 回収のみ
河浦中	8日(水) 回収のみ	天草中	9日(木) 回収のみ

※天候状態によっては巡回を中止することがありますので、あらかじめご了承ください。

その八十一
R4.1 発行



雑誌コーナーにございます。どうぞ、ご覧ください。
『抜萃のつづり』
熊平 雅人/発行人
宮脇 保博/編集人
クマヒラ・ホールディングス



その八十二
R5.1 発行

天草市立図書館
ホームページ
QRコード

天草市立図書館
お知らせ配信メール
QRコード